

## 都市防災推進協議会設立趣意

木造家屋を主体に構成されているわが国の都市は、都市災害特に火災に対し極めて弱い構造となっているが、近年、建築物の不燃化の進展、街路、公園等の都市施設の整備、消防力の充実に等により都市大火は急速に減少しているものの、都市人口の増加による市街地の拡大及び過密化、危険物等の災害発生要因の増大等から、地震のような非常災害時における都市の危険はむしろ増加拡大しており、しかも複合化、大規模化するおそれがあると考えられている。

安全性の確保は、都市存立の最も基本となるべきものの一つであり、大震火災から都市を防衛し、人命の安全を確保するための防災対策は、現下の緊要の課題として推進されなければならない。このため、重大な責務持つ地方公共団体が一致し、提携し、都市の防災構造化の推進を図る機関として、ここに都市防災推進協議会を設立するものである。

昭和53年8月4日

都市防災推進協議会設立準備会  
代表 静岡県知事 山本敬三郎